

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年2月16日 (2017.2.16)

【公開番号】特開2016-187731(P2016-187731A)

【公開日】平成28年11月4日 (2016.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2016-062

【出願番号】特願2016-157825(P2016-157825)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年1月13日 (2017.1.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行ない、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態に制御するか否かを判定する有利状態判定手段と、
前記有利状態判定手段の判定結果に基づいて、前記有利状態に制御する有利状態制御手段と、

可変表示が開始されてから表示結果が導出表示されるまでに一旦仮停止させた後に可変表示を再度実行する再可変表示を所定回実行する再可変表示実行手段と、

遊技者による第 1 動作に対応する第 1 動作演出、および、遊技者による第 2 動作に対応する第 2 動作演出を含む複数種類の動作演出を実行するか否かを決定する動作演出決定手段と、

前記動作演出決定手段の決定結果に基づいて、動作演出を実行する動作演出実行手段とを備え、

前記再可変表示実行手段による前記再可変表示の実行回数に応じて、前記第 1 動作演出または前記第 2 動作演出を異なる割合により実行可能であり、

前記再可変表示実行手段による前記再可変表示の実行回数に応じて、複数種類のリーチ演出のうちいずれのリーチ演出を実行するかの割合が異なり、

遊技状態に応じて、動作演出の実行割合が異なる、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

(1) 可変表示を行ない、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御するか否かを判定する有利状態判定手段と、

前記有利状態判定手段の判定結果に基づいて、前記有利状態に制御する有利状態制御手段と、

可変表示が開始されてから表示結果が導出表示されるまでに一旦仮停止させた後に可変

表示を再度実行する再可変表示を所定回実行する再可変表示実行手段と、

遊技者による第 1 動作に対応する第 1 動作演出、および、遊技者による第 2 動作に対応する第 2 動作演出を含む複数種類の動作演出を実行するか否かを決定する動作演出決定手段と、

前記動作演出決定手段の決定結果に基づいて、動作演出を実行する動作演出実行手段とを備え、

前記再可変表示実行手段による前記再可変表示の実行回数に応じて、前記第 1 動作演出または前記第 2 動作演出を異なる割合により実行可能であり、

前記再可変表示実行手段による前記再可変表示の実行回数に応じて、複数種類のリーチ演出のうちいずれのリーチ演出を実行するかの割合が異なり、

遊技状態に応じて、動作演出の実行割合が異なる。